

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		高齢者はつらつトレーニング				所管	福祉部 介護予防・地域支援課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	101	計画事業名	高齢者はつらつトレーニング			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現 [施策] 22 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進					[事業開始] 平成19年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕 介護保険法							
	事業対象	直接の対象 : 区内在住の高齢者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	高齢者へ介護予防に資する教室を提供することで、介護予防に関する基本的な知識や習慣を定着化し、自主的な介護予防活動を推進する。								
	事業内容 [H30年度]	①マシンを使用したトレーニング教室 (1)区民館(区内7か所) 定員6~10名 2クール(1クール10回) (2)千束健康増進センター 定員12名 8クール(1クール10回) (3)老人福祉センター 定員10名 6クール(1クール10回) フォローアップ講習会 51回 ②脳活性化教室(老人福祉センターで実施) (1)読書き計算教室 全20回 2教室 (2)面白脳トレ教室 全10回 8教室								
	委託の有無	一部委託	委託内容		運動指導業務、教室運営					
補助金の有無	国・都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	トレーニング教室開催数	クール	28	32	28	28	28	100.0%	
		脳活性化教室開催数	教室	10	10	10	10	10	100.0%	
	成果指標	トレーニング教室参加者数	人	266	301	250	251	266	94.4%	
		脳活性化教室参加者数	人	220	227	207	216	220	98.2%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			3,567		3,352		2,645	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			7,936		7,610		7,613	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
総経費			11,503		10,962		10,258			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			258		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			6,718		6,659		6,661		
	一般財源(区負担額)			4,527		4,303		3,597		
課題及び今後の進め方	トレーニング教室、脳活性化教室のいずれも参加率が高く介護予防活動へのきっかけや自主的な取り組みにつながっており、今後も本事業を推進していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	要介護状態にならないように元気なうちから介護予防活動を行うことは重要である。また、トレーニングマシンを活用した本事業への参加率は高く、自主的な介護予防活動の選択肢の一つとしてニーズがある。							
	効率性	3	区民館や健康増進センター等、身近に通える施設に既に設置してあるトレーニングマシン等を活用しており、効率良く運営できている。							
	手段の適切性	3	トレーニング教室参加者へ、各施設のトレーニングルームの個人利用の案内を行い、教室終了後も自主的に介護予防活動を継続できるよう配慮している。							
目的達成度	3	トレーニング教室、脳活性化教室のいずれも参加率が高く介護予防活動へのきっかけや自主的な取り組みにつながっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
本事業への参加率は安定して高く、介護予防に関する基本的な知識や習慣の定着化が図られている。自主的な介護予防活動につながるよう、教室開催中に介護予防の普及啓発や他の介護予防事業の案内を行う等、引き続き連携を図っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		